



PC 建築部会長

**加藤 茂裕**

トヨタT&S 建設株式会社  
代表取締役社長

年頭にあたり、まずもって元旦に発生しました能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。また被災された方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、現地で救援活動をされている方々に敬意を表します。PC建築部会として今後の復旧復興活動に全力で対応いたします。

あらためまして、令和6年を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員各社の皆様方には普段からPC建築部会の活動に多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

人々の移動が活発になり、飲食・観光業界の活動再開などグローバルでの経済活動の回復が加速してきている中で、気候変動や国際紛争の影響、加えて円安による物価上昇の勢いは留まるどころを知らず、我々建築業界においても原材料、資機材、構成部品費などは高止まり状態、労務費や燃料費は依然右肩上がりの上昇が続いており、深刻な事業経営リスクをはらんでおります。

一方で国内での建築需要はコロナ禍の反動もあり、都市部での集合住宅を含む再開発事業や大規模物流拠点整備を中心に堅調であり、半導体や電池製造施設などはさらに活況の様子ですが、建設の現場では慢性的な労働力不足が続いており、工期遅れのリスクが懸念されます。

さらに建設業においては働き方改革関連法のひとつである「時間外労働の上限規制」の猶予期間が終了し、この4月から規制が適用されることになります。いわゆる2024年問題とも言われる変化点です。人材不足や長時間労働といった建設業が抱える課題の解決のために、国土交通省では労働時間の管理やキャリアアップシステム、IoTやDXの推進、ICT建機の導入などの具体的対策を主導しています。これら対策の展開と合わせて、各企業においては現場の担い手である技術者、技能者の確保だけでなく、業務の改廃による標準化、効率化や生産性の向上を図ることにより、みんなが働きやすい労働環境の構築が求められています。

このような厳しい状況を打破し、建築業界が持続的成長を遂げていくためには、BIM/CIMなどデジタル技術の導入による品質向上および業務スピードのアップ、人に代わって作業をこなすロボティクス技術の活用や現地工事レスを狙ったプレハブ化、ユニット化などの施策による省人化などがいっそう重要視されてきています。

また建築業界を取り巻く環境としてのSDGsにもいっそうの注目が集まってきております。災害に強く安心して暮らせるまちづくり、住まいづくり、カーボンニュートラルへの貢献はもちろんのこと、資源有効活用として老朽化した既存施設のリニューアルやリノベーション技術の開発など、今後もプレハブ建築への期待は大きいものと考えられます。

PC建築部会におきましてはプレキャストコンクリートの強みである耐震、耐火性はもちろんのこと、高い環境性能や工期短縮効果についてもさらなる技術研鑽を進めております。災害からの復興住宅対応への備えや既設集合住宅の建替え、リノベーションなどの取り組みを通じて、PCの持つポテンシャルを引き出していきたいと考えています。

併せて「PC構造建築物等PC審査事業」「PC部材品質認定事業」「PC部材製造管理技術者資格認定事業」「PC工法施工管理技術者資格認定事業」の主要事業を通じてPC建築に関わる場づくりと人づくりを進めておりますが、現地現物とリモートを併用しながらの事業運営を進化させ、スピード感を持って柔軟に対応してまいります。

PC建築業界にとって個社での持続的成長には乗り越えなければならないハードルが幾つも立ちだかっている状況が続きますが、日頃切磋琢磨している各社が中長期の課題に向かって、皆で知恵と技術を絞り出し合いながら解決策を見出していけるチャンスでもあります。PC建築部会が仲間を結びつける役割を果たし、業界全体での建築手法の進化と技術者の育成に努めていく所存です。今後とも、皆様方の格別なるご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社様の社業のますますのご発展と、今年一年の皆様方のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。